

発行日	令和3年8月17日	担当者	営農企画課 河守 綾香
対象期間	令和3年8月17日～8月30日		
発行者	JAハイナン 営農企画課		
原稿提出者	○茶：東部C丹所 ○大根・馬鈴薯・メロン：東部C水野 ○水稻・レタス・サニー：西部C河原崎 ○みかん：東部C浅野 ○いちご：西部C村松		

項目 品目	生育状況・病虫害発生状況	管理・病虫害防除
茶	<p>夏芽の生育は、来年一番茶の母枝、母葉となるため、収量、品質に影響します。病虫害や乾燥に十分注意して管理作業を行ってください。</p> <p>中切り更新後、夏季整枝を行った茶園（台切番を摘採した茶園）では、秋芽が来年一番茶の母枝、母葉になります。1週間以上降雨の無い場合は優先してかん水を行ってください。</p> <p>新梢枯死症、炭疽病の感染は、萌芽から開葉期の降雨によります。降雨前後の薬剤選定とタイミングを見極めて防除を行ってください。</p>	<p>○チャノミドリヒメヨコバイ・チャノキイロアザミウマ スタークル顆粒水溶剤 2000倍 7日-2回 または ウララDF 1000倍 7日-1回</p> <p>○カンザワハダニ ダニサラバフロアブル 2000倍 7日-2回 または アグリメック 1000倍 7日-1回</p> <p>○炭疽病・褐色円星病 スコア顆粒水和剤 2000倍 7日-2回</p>
いちご	<p>タンソ病、ハダニ、コナジラミが多く発生していますので防除並びに環境の改善を行って下さい。</p>	<p>子株管理</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施肥管理 この時期は置肥は置かないで液肥で管理して下さい。 クマイ液肥2号を水道水で希釈した場合 500倍…ECO. 8 800倍…ECO. 5 1000倍…ECO. 4 硝酸イオン試験紙で定期的に測定し肥料切れしていないか確認をして下さい。 • 灌水管理 灌水は朝十分に行います。天候により乾いてしまうようなら遅くとも3時頃までに灌水又は葉水を行って下さい。過剰な灌水はタンソ病の発生が助長されますので注意して下さい。 • 葉枚数 3枚程度葉があるように葉かきを行って下さい。但し、定植時には4～5枚程度になるように調整して下さい。 • 防除 この時期使用する薬剤は育苗期にしか使用できません。天敵とハチに影響のある薬剤の選択をして下さい。ただし、影響日数を確認して下さい。
みかん	<p>病虫害防除 黒点病 時期 8月中下旬 ※枯れ枝はすぐ取り除きます。</p> <p>スリップス・カイガラムシ 時期 8月中下旬 第6世代ピーク8月23日頃 ※防除所予測。</p>	<p>黒点病 エムダイファー水和剤600倍（60日-2回、茶登録なし） ※収穫前日数が60日です。極早生は注意します。</p> <p>スリップス・カイガラムシ モスピランSL液剤4,000倍（14日-3回）</p>

	<p>作業 着果管理 着果が多く新梢が少ない樹 今なお着果が多い樹は、品質が期待出来ない上部や内裾成り果、傷果を優先して摘果し、目通りは肥大抑制のため着果負荷をかけ、房状に重なっている場合は軽く間引きます。 着果の少ない樹 摘果は、着果ストレスをかけるよう収穫前に行います。</p>	
メロン 4～8月	<p>概ねメロンの収穫は終了しました。 今後は次作（主に大根）に向けての 土壌消毒を行って下さい。</p> <p>右記の土壌消毒剤は、大根の登録農薬を基準に記載させていただいております。</p>	<p>○ネコブ、ネグサレセンチュウ 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D-D 油剤 20L/10a 播種前 10～15 日前 くん蒸処理/被覆又は水封 1 回 ・ディトラペックス 20～30L/10a 播種前 14 日前（砂質土） くん蒸処理/被覆又は水封 1 回 ・ソイリーン 30L/10a 播種前 10～15 日前 くん蒸処理/被覆 1 回
水稻 4～9月	<p>早期栽培は刈り取りが始まりました。 普通期栽培は田植え日によって差はありますが、 穂揃い期～登熟期を迎えています。 出穂前と穂揃期の2回は必ず防除を行ってください。</p> <p>昨年はウンカの被害により坪枯れが多く発生しました。 <u>静岡県病害虫防除所による調査での誘殺数は平年より多く推移している為、今年も急激な増殖による被害が懸念されます。</u> カメムシの防除を兼ねて必ず薬剤散布を行ってください。</p>	<p>【早期栽培】 入水後は間断かん水を行ってください。 収穫の7日前には落水を行ってください。</p> <p>【普通期栽培】 ○防除 [出穂前] 3種混合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いもち病 ダブルカットフロアブル 1000 倍(穂揃まで-2回) ・紋枯病 モンカットフロアブル 1000 倍(14日-3回) ・コブノメイガ ロムダンゾル 1000 倍(21日-2回) ※ウンカへの防除を重視する場合はロムダンゾルに変えて下記のどちらかの剤へ変更してください。 ・トレボン乳剤 1000 倍（14日-3回） ・キラップジョーカーフロアブル 1000 倍（14日-2回） <p>[穂揃期] 2種混合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いもち病 ブラシンフロアブル 1000 倍（7日-2回） ・カメムシ類・ウンカ類 スタークル液剤 10 1000 倍（7日-3回） <p>※穂揃期の防除後もカメムシやウンカが多い場合は <u>エクシードフロアブル 2000 倍（7日-3回）</u> を散布して下さい。</p>
大根 9～2月	(9～2月に掲載予定です。)	(9～2月に掲載予定です。)
馬鈴薯	(2～6月に掲載予定です。)	(2～6月掲載予定です。)

2～6月		
レタス 9～3月	(9～3月に掲載予定です。)	(9～3月に掲載予定です。)
サニー レタス 9～3月	(9～3月に掲載予定です。)	(9～3月に掲載予定です。)
<p>★☆☆隣接する圃場に他の作物が栽培されている場合、風のない日に防除する「ドリフト軽減噴口」を使用するなど十分な注意をお願いします。☆☆</p>		

次回発行 令和3年8月31日